

患者さんへ

「内視鏡下採取による大伏在静脈(Pedicle-SVG)の
経時的な形態変化についての検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	2019 年 9 月～2025 年 12 月に当院で冠動脈バイパス術(CABG)を受けられた方
2 研究目的・方法	当科では、冠動脈バイパス術(CABG)で移植した血管の長期開存と創治癒の両立を図るため内視鏡下に周囲脂肪組織を付けた大伏在静脈採取(Pedicle-SVG)を行なっています。当科の Pedicle-SVG は全例大腿から採取しており、下腿より大口径であることから開存性への影響が懸念されます。しかし、Souza 医師らは SVG の口径差が開存性に影響を与えるのは従来採取法の SVG であり、NT (No touch)-SVG では採取部位(下腿/大腿)により開存性に差はなかったと報告しています。今回、大腿部より採取した Pedicle-SVG の経時的内径変化について検討し、NT-SVG での採取部位が開存性に影響を与えない理由について考察し、研究します。 研究の期間: 施設院長許可後～2026 年 10 月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	患者背景(年齢、性別等)、冠動脈 CT にて測定した術直後/1 年後/3 年後の Pedicle-SVG の内径 等。これらの情報は通常の診療で得られた診療録、CT 画像より収集します。
6 個人情報の取り扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
6 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

	照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 福岡徳洲会病院 住所:福岡県春日市須玖北4丁目5番地 電話番号:092-573-6622 (月)~(金) 9:00~17:00 研究責任者:心臓血管外科 片山雄二
--	---

2026 年 8 月 14 日作成(第 1 版)